



大町市キャラクター
おおまちはろ

／お互いさまのまちづくり

第172号
平成26年10月1日

社協 おおまち

できることから

企業のボランティア活動!!



40人ほどで活動を——

北陽建設㈱では、平成18年に北陽ボランティアクラブを組織し、毎年、農具川で外来種「アレチウリ」の駆除や県道大町明科線の清掃活動を行っている。

最初は10人前後のメンバーであったが、活動への理解も深まり、今では40人ほどとなっている。

1回の作業は2時間ほどで、年2～3回の活動を実施。釣りが趣味の人もあり、「農具川にもっと魚が戻ってくれば」と。

地元住民からは「お疲れさま」「ありがとね」と言われ、少しは貢献できているかなと感じ、活動の励みとなっている。

主な内容

◆特集！災害を地域で考える……………2～3ページ

◆あなたにインタビュー……………4ページ

◆市民ふれあい広場……………5ページ

◆赤い羽根共同募金……………6ページ

◆心配ごと相談日程ほか……………7ページ

◆お知らせ 雪かき支援員募集ほか……………8ページ

災害を地域で考える

日本全国でさまざまな自然災害が発生しています。ひとたび災害が発生すると、財産や日常の生活が失われるだけでなく、尊い命が犠牲となる場合もあります。

被災地の状況や他の地域の取り組みを知り、私たちは何を行えばいいかを考えてみたい。

あの日から3年半。災害から学んだことは

一人ひとりの意識の変化

まだまだ、復興途中で、地域での新たな取り組みはこれから。ただ、圧倒的に個人の意識が変わってきている。例えば、非常持出袋の準備はほとんどの方がしているし、枕元に必ず着替え等の準備をしている方も多い。

岩手県 山田町社協に聞きました



役割分担はだめ。みんなができる地域防災を

もともと、沿岸地域では自主防災活動が活発であった。例えば、避難訓練の中で要援護者も参加し、リヤカーなどで避難し、率先して夜間訓練をやっていた。災害が発生してわかったことは、訓練に参加している担い手の皆さんが、災害発生時に必ずしも地域にいないということ。

役割を決めてしまうと、その人がいないと機能しないことに。これからの地域防災は、一部住民だけがわかって実践するのではなく、すべての住民がどうしたらいいか理解し、できるようにしていくことが大切と学んだ。

災害発生時の大事な順番

地域にはさまざまな役割を担っている人がいる。中には災害等が発生したときに率先して地域住民の避難や安否確認を行う役割の人もある。(民生委員など)

でも、まずは自分の命。命がなければそのあとの行動もとれない。それから家族の命。この両方が無事であって初めて地域の方の救援活動ができる。この順番を大事にしたい。



岩手県山田町の被災状況

2011年3月11日 東日本大震災で震度5弱が観測され、約40分後に津波が到達。津波の高さは8～10m。最大で25mにまで及んだ。同時に大規模な火災が発生。駅を中心とする市街地は広範囲にわたって焼失した。

【被害状況】(H26.9月現在)

- 人的被害 死者・行方不明者 818名
- 家屋被害 被災家屋 6,025棟



長野市中条地区の取り組み

住民主体の取り組み

高齢化率5割に近い地区。災害発生時、置き去りはしない。

高齢化率100%の集落もある中条地区。旧中条村のころ村社協が作成した「地域福祉活動計画」を住民自治協議会が引き継ぎ、地域の防災力向上のため「緊急時支え合いマニュアル」を作成した。

《マニュアルの重要ポイント》

① まずは自分の命を守る取り組みを

誰かにやってもらうのではなく、自分自身の命を守る取り組みや工夫を。例えば、タンス等が転倒しない工夫や部屋は常に整理しておくなど。



② 隣近所ごとの集合場所で安否確認

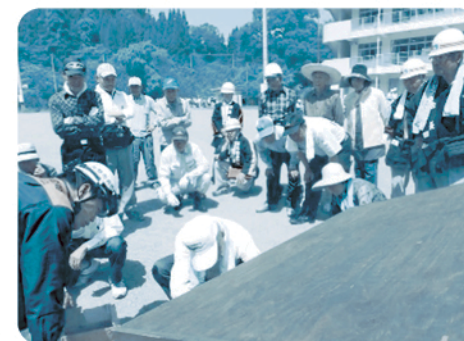
隣近所で家の近くに集合場所を設定。安否確認表を作り、災害時来ない人は、来た人みんなで助けにいくことができる。



みんなで集合場所を決めました

③ 高齢者の不安解消「安心カード」の作成

一人暮らしの方や、日中一人となってしまう方から、「病気で倒れたら」、「何かあった時に連絡したい人がいる」そんなときどうしたらいいの。と不安な声があり、中条地区全戸へ『安心カード』を配布。自身や家族の情報を書き込み専用ケースに入れて、冷蔵庫の中へ保管することとした。



中条地区は、長野市という大きなまちとの合併をきっかけに「地域のことは地域で」という意識が高まっている。緊急時支え合いマニュアル作成はまさにそれが形となったもの。

《決めたことは即実践 避難訓練の実施》

地区住民みんなで訓練に参加

防災！ 地域で必要な取り組みは…

1 災害はいつ起こるかわからない 意識をもつこと

大町市は、大きな災害を経験した住民が少ない地域。でも、災害はいつ起こるかわからない。災害のあった地域の教訓を生かし、『人ごとではない』という意識をもち、考えることが必要。

2 誰もが安心して避難できる仕組みづくり

災害弱者といわれる高齢者や障がい者が安心して避難できる地域は、地域に住む誰もが安心して避難できる地域といえる。大町市の中でもそれぞれの地域で実情が違う。本当に安心して暮らせる地域づくりは、そこに住む皆さんが主体となっていくことが理想である。

防災は地域づくり



あなたにインタビュー!! 地域防災 あなたのまちは

●地域防災は隣近所が基本



須沼自主防災会長 遠藤 隆王さん

自分や身内に障がいのある者がおり、以前より災害時の心配があった。地域のつながりの希薄化もあり、障がいや病気のある方などは近所のこと

わからない。そこで、地域のことを知って支え合えればと「家族支え合いカルテ」を作成し、全戸で取り組みを進めた。個人情報のある面もあるが、感じたことは、地域防災は一部の役員だけが担うのではなく、隣近所が基本だということ。カルテを通じて隣近所の支え合い意識が深まってくれば。

◀カルテには、同居家族や身内の情報に加え、災害時提供できる資源についても記入する。

●自分を守ってくれる「だいじょうぶですタオル」の取り組み



神栄町 寺島 勝さん

千葉県のある町の事例を参考に、「だいじょうぶですタオル」の取り組みを始めた。このタオルは、安否確認を第一の目的としているが、併せて防災意

識の向上と地域コミュニティを強くする道具として期待し現在に至る。神栄町は全住民の約3割が自治会未加入。このタオルに限っては、自治会加入未加入関係なしに、全住民に配布し毎年の避難訓練時に、玄関先に掲示してとお願いしている。避難訓練は、役員や住民の一部が参加することが常であるが、タオルを掲示するという行為だけで訓練に参加できるので、防災意識の向上につながっている。一人暮らし高齢者からは「このタオルを持っていることで自分を守ってくれるような気持ちになる」と言われた時は、一定の成果があったと感じた。



◀災害発生時、地域に自分の無事を伝える「だいじょうぶですタオル」毎年の避難訓練では、神栄町各戸で黄色タオルが掲げられます。

●災害は誰にも起こる。その時あなたは？



八坂 舟場 山崎 一さん

「まさか自分が災害に遭うとは…」平成16年の台風23号による豪雨災害でそう思った。家の庭先に土砂が近づく

恐怖。裏山からバリバリッ！と音がなり、木々が倒れながら迫ってくる恐怖。災害に遭うと必ずパニックになる。普段なら落ち着いてできることもできなくなる。日ごろの訓練を重ねることが大事。しかし、実際は参加者を集めるのが大変。一人ひとりが意識を持ってどうすればいいかを共有することが大事。災害は誰にでも起きる可能性はある。災害が起こったとき自分自身はどうするべきか、どうしたらいいかを考えなければならない。災害に遭い今感じることは、役割をつくって、その人がいなければできない防災ではいけない。誰もができる防災を考えなければと感じる。



◀平成16年台風23号による豪雨災害。国道19号栃沢洞門にて土砂崩落。八坂村内各所で土砂崩落が発生し、一時孤立状態となった地域も。

●夜間訓練で、新たな課題発見



東中原町民生委員 丸山美栄子さん

昼間行う避難訓練を夜間に行う必要性を感じており、私が自治会長のときに提案。賛同してくれる方も多く実施に至った。中越地震で安否確認の課題

があった地域で、安否確認タオルを始めた事例を知り「避難完了カード」を作成。全戸へ配布し訓練当日に玄関先へ掲示する訓練も併せ行った。夜間訓練の長所は、家族ぐるみで参加できることと、夜間ならではの課題を発見できること。参加者からも、「昼間訓練に参加できない人も参加できた」「地区の団結が深まった」と。懐中電灯は肩掛けで、家族一人1個必要とか、夜間で道路の段差がわからないなどの課題をはじめ、高齢者は、避難に時間がかかることなど、皆で共有することができた。この経験を生かし、各家庭で何が必要かを考え準備しておくことが大切と感じた。



◀当日は、全43世帯の60人余りが訓練に参加。多世代参加により、訓練だけでなく、地域交流も図られた。

今年もやります! 復興支援イベント

10月11日(土)
開催!



—市制施行60周年・合併10年記念 2014市民ふれあい広場—

焼きたてさんま1,500匹無料配布!!

今が旬! 岩手県大船渡

さんままつり in大町

大船渡港から直送された新鮮なさんまを大船渡からやってきたスタッフの皆さんの熟練した“炭焼きの技”で香ばしく焼き上げます。大根おろしを添えて、召し上がれ。



今年は、“さんま引換券”が必要です。

※引換券は、お一人一枚までとさせていただきます。

午前10時より
引換券を配布します。

大船渡海産物販売!!

大船渡より、たくさんの海産物を仕入れました。

災害復興! みなさん、是非お買い求めください。



▲東北銘菓「かもめのたまご」
450円から



▲各種魚の天日干し
330円から

岩手県 障がい者施設 自主製品販売

岩手県内の障がい者施設で制作している自主製品を仕入れました。手作りの軍手は、丈夫で長持ち。是非お買い求めください。



○作業用白軍手
1ダース 250円

○カラー軍手
2組 150円

◆開催日時

10月11日(土) 9:30~14:30

◆開催場所

大町市文化会館前広場ほか

皆さんのご来場を お待ちしております!

赤い羽根共同募金運動が始まります！

募金活動期間
10月1日
～
12月31日

この運動は、毎年大勢の皆さんにご協力いただいております。

昨年は、**9,799,038円**の募金をいただきました。

今年は、募金目標額を**9,688,000円**としてご協力をお願いすることとなりました。

知っていますか？

災害ボランティア活動など被災地支援にも役立っています

平成23年 7月 東日本大震災では…



1,600万円

平成23年 7月 長野県北部地震では…



92万円

平成24年 3月 長野県北部豪雪災害では…



325万円

平成26年 7月 南木曽町土砂災害では…



313万円

寄附いただいた共同募金が、各被災地の災害ボランティアセンターの運営費などに活用されています。

また…

地域の防災にも活用されています。

三日町自主防災会 救命救急箱



29,000円

大原2号団地自治会 防災物品倉庫の更新



187,000円

『安心安全なまちづくり活動支援公募配分』 10月より申請を募集します。是非あなたの町でもご活用ください。

—募っているのはおもしろいです—



事前予約にご協力ください。 ☎ 22 - 1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 10月・11月

10月	開催日	時 間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先
	10月6日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	10月20日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	10月14日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	10月28日(火)					
	10月1日(水)	13:00~15:00	生活相談 行政相談	民生委員 行政相談員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000
	10月15日(水)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72 - 5000
11月	11月10日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	11月17日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22 - 1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	11月11日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62 - 9544
	11月25日(火)					
	11月5日(水)	13:00~15:00	生活相談 子育て相談	民生委員 児童委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62 - 9000

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付け
ています。 ☎22 - 1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

ふれあいの窓

善意の寄附をありがとうございます H26. 7. 16~H26. 9. 15(敬称略)

【現金】 大町市元市議会議員の会…20,000円
降幡 芳夫……………50,000円

【物品】 高橋 恭男…シルバーカー 1台
合津 富吉…カラオケ一番スピーアマイクセット

【使用済切手等】 市川 尊典 ほかに匿名多数

福祉の制度紹介

交通・災害遺児見舞金及び就職激励金支給制度

県内にお住まいの方で、交通事故や災害事故により父又は母が死亡や重度の障害となった場合、その遺児やお子様に対して、支給される制度です。

見舞金

支給対象者	支給額
満18歳に達した日以後の最初の3月31日までに遺児等となったお子様	遺児等一人に対し 50,000円

就職激励金

支給対象者	支給額
中学校、高校及び専修学校高等課のいずれかを卒業または中退し就職した遺児等	遺児等一人に対し 70,000円

急募!!

困っています 高齢者宅の除雪 「雪かき支援員」募集!!

大町市では、除雪が困難な高齢者を支援するため、高齢者世帯の雪かきをしていただける方を募集しています。

これからさらに一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増えていくと予想されている中で、高齢者世帯では、雪かきに苦労されている方が大勢います。

そんな現状を理解いただき、お手伝いいただける方、是非ご応募ください。

**あなたのご応募
お待ちしております。**

雪かき支援員の内容

- 有償のボランティアです。
- ◆報酬 30分につき500円
※除雪機を使用した場合は、30分につき500円を加算します。
- ◆内容 あらかじめ担当のお宅を決定し、降雪時、担当のお宅から直接支援員へ連絡があった場合に除雪を行います。
※応募いただいた方には、11月中旬ごろに説明会を開催します。

応募方法

- 下記お問い合わせ先へご連絡ください。
- 福祉課 高齢者・介護保険係(市役所内)
TEL22-0420 (内線474)



生活 や 就労 などでお困りの方 『まいさぼ大町』にご相談ください

『まいさぼ大町』は、様々な事情で生活にお困りの方の総合相談窓口です。

- ◆相談受付 月～金曜日(休日除く)
8:30～17:30
- ◆場 所 大町市大町1129番地
大町市総合福祉センター 2階
- ◆問い合わせ先 TEL0261-22-1501
E-mail ps-omachi@nsyakyo.or.jp



相談内容(例)

- 電気やガスが止められそう
- 仕事が続かない
- 子どもが引きこもって…
- 近所で心配な方が…

利用できる制度や機関をご案内しながら問題解決のお手伝いをします。

一人で悩まないで… まずは、お気軽にご相談ください。

くらしカフェ — 特殊詐欺非常事態宣言発令 — あなたが「カモ」かも?! 人ごとだと思いませんか?

「〇〇市で2000万円だまし取られる…」毎日のようにニュースで報じられる詐欺や悪徳商法による被害。「訪問販売」「電話勧誘」「通信販売」「携帯電話やインターネット」…、“便利だ”“親切だ”“子や孫が大変だ”と思っていたら、実はだまされていた、大切なお金をだまし取られたという人が後を絶ちません。

悪徳商法や詐欺でだまそうとする側はだましのプロ、それに立ち向かう最大の“武器”は“知識”です。まずは、最新の“だましの手口”を知り“対処法”を身につけて、あなた自身や家族を守りましょう。

- ◆日時 11月26日(水) 14:00～16:00
- ◆会場 大町市総合福祉センター 2階
大会議室(大町市大町1129)
- ◆講師 北村きぬ子氏(消費生活コンサルタント・コープながの有識者理事)
- ◆参加 無料
- ◆申込 11月22日(土)までに、コープながの総合企画室までお申し込みください。
- ◆問い合わせ
大町市消費生活センター TEL0261-26-3225
コープながの総合企画室 TEL0120-502477

講師の約1時間のお話の後、講師・相談員さんを囲んでおしゃべりとお茶の時間があります。

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumukikaku@omachishakyo.org